

令和3年度 陸別町社会福祉協議会 事業報告総括

当協議会は今年度の活動方針に基づき、コロナ禍においても対策を講じるなどして可能な限り社協に寄せられる期待に応えるべく各種事業に取り組む所存でしたが、5月中旬からコロナの感染拡大による影響が顕著になり、運営事業において第2回理事会をはじめとする多くの会議や研修会が書面会議やリモート開催あるいは中止となりました。

感染対策の一例としては、法人会費徴収について、赤い羽根共同募金推進運動と合同実施とし、社協役員と共同募金委員会役員と一緒に企業訪問をしていただきました。

さらに事業実施にあたっては、コロナ感染防止に対する危機管理意識を職員全員で共有し、国や道の感染対策並びに近隣の感染状況を見極めた上で慎重を期してきたところです。

地域福祉活動事業サービス区分では、電話・給食サービス、介護用品給付事業、移送サービス等例年のとおり実施できた一方で、介護予防事業のふまねっと運動・認知症カフェ事業のほっとカフェのほか子どもカフェなどは、多人数が一カ所に集まることになることからコロナ感染拡大防止対策として、中止せざるを得ないことが多々ありました。

また、一般の移送サービス利用が右肩上がり伸び続けており、前年比でほぼ倍増となりました。この対策としまして、移送サービスに対応できる車両への更新をはじめ、町へ財政支援の要望書を提出いたしました。

なお、地域子育て支援拠点事業のおやこのひろばは、事業の目的が子育ての孤立感や負担感を解消するための交流の場の提供ということもあって町からの要請により、国の緊急事態宣言期間中においても感染防止対策を徹底しながら、開設をしてきました。

共同募金配分金事業サービス区分では、ふれあい昼食会やサロン事業が中止となる中で、ふれあい広場事業について早い段階で中止を決定し、北海道共同募金会へ事業計画の変更届を提出して、ふれあいお届け隊事業の実施に至りました。今後は、この事業の定着を図るとともに、対象者の拡大について検討を重ねてまいります。

生き生き元気昼食会については、食事を持ち帰りとするとともにコロナ禍に対応した内容に変更することとして、老人クラブ連合会との共催で健康講座を行いました。

権利擁護事業サービス区分では、池北三町合同の市民後見人養成研修について、日程を変更したりリモートを活用した形で実施にこぎ着け、当町では8人が修了証書を受領しております。また、後見人の受任件数も増加傾向にあります。さらには、生活困窮に関わる相談件数も増加しております。

訪問介護事業サービス区分並びに訪問入浴介護事業サービス区分では、在宅介護の増加に伴い利用者数・訪問日数ともに増加傾向にあります。これらのニーズに対応していくためには、有資格者の人材確保について今まで以上に取り組んで行かなければなりません。

新型コロナウイルスの感染拡大に関しては、終息の見通しがつかない状況下でも利用者や職員の安全を第一に、事業内容に工夫を加えていくことで、地域福祉の推進が停滞しないよう努めてまいります。

財政運営に関しては、慢性的に収入不足が生じている介護事業について、抜本的な改善を目指すために、特に訪問介護・訪問入浴介護に対する介護報酬の見直しを町を通じて国へ要望していきます。

令和3年度事業報告

地域福祉拠点

事業内容	時期	場所	備考
I. 法人運営事業サービス区分			
1. 会務の運営			
1) 評議員会の開催			
第1回 令和2年度事業報告、収支決算の認定 理事並びに監事の選任	5月27日		書面開催
第2回 陸別町への要望について 令和3年度補正予算	8月5日	保健センター	評議員10名出席
第3回 令和3年度補正予算	12月29日	保健センター	評議員11名出席
第4回 令和3年度補正予算 令和4年度振興基金の取崩し 令和4年度事業計画、収支予算の承認	3月23日	保健センター	評議員10名出席
2) 理事会の開催			
第1回 令和2年度事業報告、収支決算の認定 評議員選任・解任委員会委員の解任、選任 評議員の選任候補者の推薦	5月11日	保健センター	理事、監事11名出席
第2回 会長並びに副会長の選任 評議員選任・解任委員会委員の選任	5月28日		書面開催
第3回 陸別町への要望について 令和3年度補正予算	7月28日	保健センター	理事、監事 9名出席
第4回 令和3年度補正予算	12月20日	保健センター	理事、監事11名出席
第5回 令和3年度補正予算 令和4年度振興基金の取崩し 令和4年度事業計画、収支予算の承認 規則の一部改正	3月15日	保健センター	理事、監事11名出席
3) 監査の実施			
第1回 令和2年度事業決算処理全般監査	4月27日	社協事務所	(4/30外部監査実施)
第2回 6月末基準日全般監査	7月20日	社協事務所	
第3回 9月末基準日全般監査	11月1日	社協事務所	
第4回 12月末基準日全般監査	2月3日	社協事務所	
4) 三役会議の開催	随 時		
5) 福祉なんでも相談所の開設	随 時		36件
6) 各種大会、研修会等への参加（主なもの）			
・ 全道市町村社協会長・事務局長研究協議会	6月11日	オンライン	会長、事務局長出席
・ 十勝地区災害ボランティア組織連携会議	10月19日	帯 広 市	会長、事務局長出席
・ 法人役員研修	3月	オンライン	役員4名参加
・ その他社協役員研修会への参加	随 時		
7) 高齢者就労センター運営管理	年 間		

事業内容	時期	場所	備考
2. その他 1) 社協会費増強及び会費増口の推進月間 2) 住民弔慰供花料の贈呈 3) 関係機関、福祉施設、福祉団体との連絡調整 ① 民生児童委員活動との連携 ② 福祉団体への活動支援	7月～9月 年間 年間 年間	全町	25件 125,000円支出
II. 地域福祉活動事業サービス区分 1) 電話サービス事業の実施《安否確認》 2) 食の自立支援事業の実施 ・ 給食サービス事業の実施 利用料 ～ 非課税世帯 1食 300円 課税世帯 1食 700円 ※社協負担(非課税世帯) 1食 400円 3) 介護用品給付事業の実施 ・ 介護度1～5(全世帯対象) 《1月チケット5枚まで利用可》 4) 介護予防事業の実施 ① ふまねっと運動の推進 ・ ふまねっと運動教室の開催 《毎週1回開催》 ② ふれあいマー جانサロンの開催 ・ ふれあいマー ジャン大会 5) 移送サービス事業の実施 ・ 人工透析患者の通院(足寄町国保病院) ・ 介護保険法で「要介護者」若しくは「要支援者」 で、一般の交通機関を利用するのが困難な方 6) 生活支援体制整備事業の実施 7) 認知症カフェ事業の実施 8) 地域子育て支援拠点事業の実施 9) 子どもカフェ事業の実施	年間 (週3回～月・水・金) 年間 年間 年間 25回開催 30回開催 11月18日 年間 (週3回～月・水・金) 年間 年間 6回開催 242日開設 6回開催	全町 延1,352食 延 284食 計 1,636食 保健センター 高齢者交流C 高齢者交流C 足寄町 町内外 コミュニティプラザ ザぶらっと 保健センター 高齢者交流C	延 693件 対象者6名(142回) 利用者延 136名 237回実施 業務委託 ～ (有)浜田旅館 利用者 28名 チケット利用枚数 387枚 参加者延 230名 協力:ふまねっと☆りくべつ 参加者延 227名 参加者 12名 延 1,063回実施 登録者延 5名 延 188回実施 登録者延 24名 参加者延 53名 利用者延 3,161名 参加者延 203名

事業内容	時期	場所	備考
10) 赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金運動の推進	10月～12月	全 町	
IV. ボランティアセンター事業サービス区分			
1) ボランティア活動のPR	年 間		
2) ボランティアグループ活動の助成並びに後援	年 間		
3) ボランティア活動実践登録者の推進	年 間		
4) ボランティアの相談・あっせん・育成	年 間		
5) 子育て支援の実施	年 間		
6) 各種大会・研修会等への参加 ・ボランティア愛ランド北海道	年 間		中止
7) とがちボランティアプラザ推進委員会事業への協力 ・ボランティアミニ愛ランド	年 間		中止
V. 権利擁護事業サービス区分			
1) 成年後見実施機関業務（陸別町受託事業）	年 間		
① 福祉総合相談窓口(福祉なんでも相談)	随 時		
② 成年後見制度の普及、啓発			
③ 成年後見申立等の調整、対応、支援			
④ 受任等調整会議の開催	3月10日		1回開催
⑤ 市民後見人活動支援			
⑥ 市民後見人養成研修の開催 (3町合同WEB開催)	1月20日～2月18日		タウンホール 受講生 18名
⑦ 市民後見人フォローアップ研修の開催(WEB開催)	11月15日 3月28日	タウンホール タウンホール	参加者 17名 参加者 17名
⑧ 事例検討会議の開催(地域ケア会議との連携)			
⑨ 関係機関との連携、調整(法人後見NPOとの連携)			
2) 法人後見事業			
① 法人後見受任業務	年 間		受任件数 6件
② 後見支援員登録、活動			支援員 16名
3) 日常生活自立支援事業（道社協受託事業）			(受任なし)
① 福祉サービス利用援助			
② 日常的金銭管理、書類等預かりサービス			
③ 支援員の登録・指導・助言・現任研修等			

事業内容	時期	場所	備考
VI. 資金貸付事業サービス区分			
1. 生活福祉資金貸付事業（道社協受託事業）			
1) 生活福祉資金貸付の推進	年間		1件 100,000円貸付
2) 特別生活資金(冬期生活資金)貸付事業の推進	11月～3月		(貸付なし)
2. 生活応急資金貸付事業			
1) 生活応急資金の貸付	年間		3件 150,000円貸付

在宅福祉拠点

事業内容	時期	場所	備考
I. 訪問介護事業の運営	年間		
1) 訪問介護事業			延 124件 1,120回
2) 総合事業			延 38件 251回
II. 訪問入浴介護事業の運営	年間		延 27件 54回
III. 障害者等居宅介護事業の運営			(実績なし)
IV. 苦情処理業務の苦情窓口の設置	年間		0件